HailMary Magazine

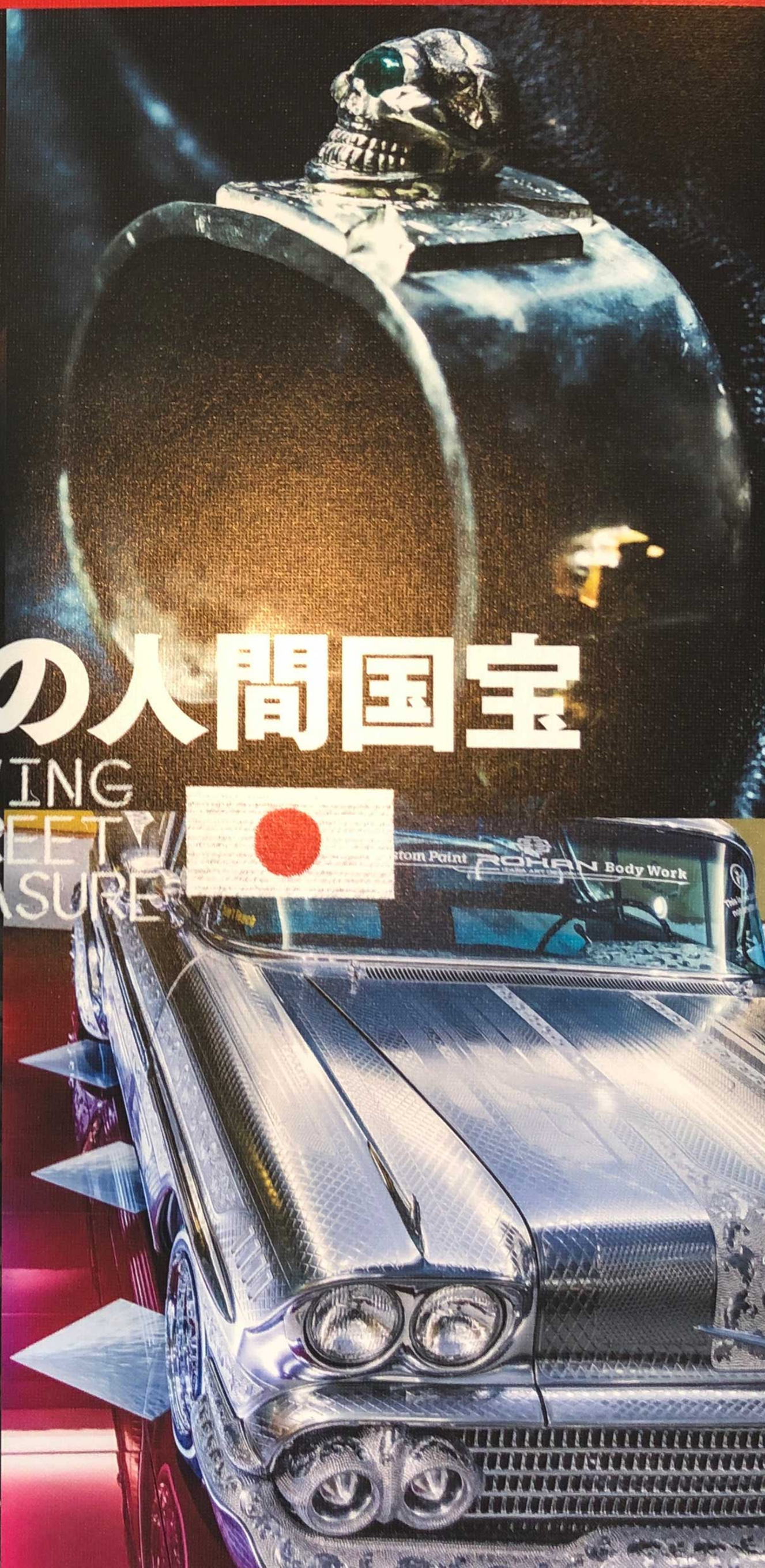
Formation Book for Mr.Untouchable

ヘイルメリーマガジン

VOL. 037
JUNE 2019
1,000yen (+tax)

ストリートの人間国宝

LIVING
STREET
TREASURE



The Great Outdoors
まだ見ぬアメリカの聖域へ

我々日本人観光客の多くがあまり足を踏み入れたことのない大自然を見つけに行くアームチェアトラベラーズガイド「Undiscovered USA — The Great Outdoors」。21回目はバーモント州。ニューヨークやボストンから車で数時間で、バーモントのグリーン山脈の美しい紅葉や、スキーやスノーボードといったウィンタースポーツを満喫できる。

第21回
バーモント州

トラックのボンネットの上に座っているのがヨハネス・ヴォン・トラップ。トラップ男爵の末息子で、現在80歳になる『トラップ・ファミリー・ロッジ』の経営者

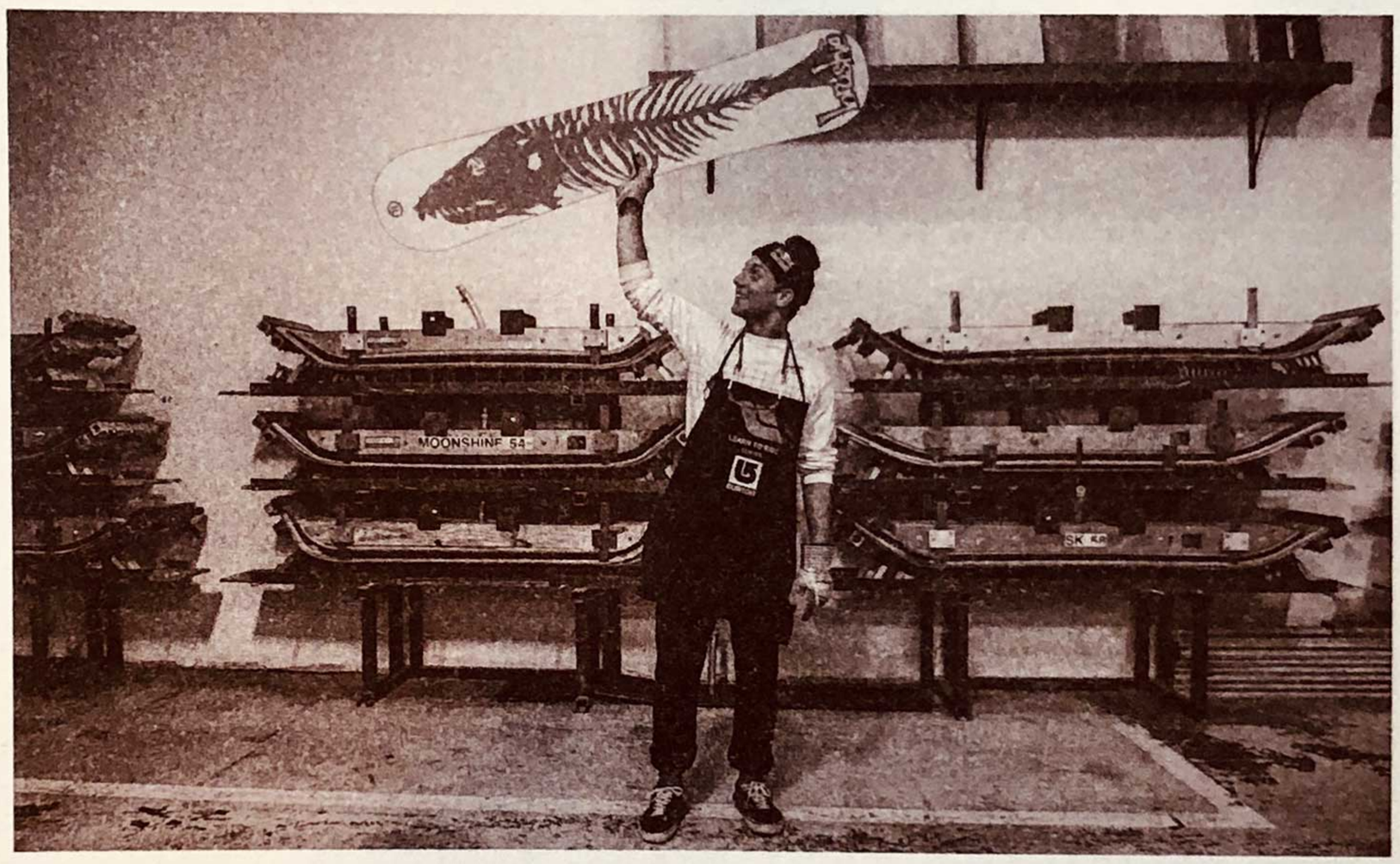
スノボや釣り、自然をとことん楽しみつくす

ハウス食品の“バーモントカレー”でよく名前が知られるようになったバーモント州。カナダに国境を接し、実際にメイプルシロップもリンゴも多く収穫される。お隣のニューハンプシャー州と面積は同じだが、人口はニューハンプシャーの約半分。人間の数より牛の数の方が多いとも言われている。バーモントは縦に長い州で、州の中心部を南北に約400kmのグリーン山脈が貫く。

グリーンマウンテンの山々は、冬の間、約20のスキーリゾートを抱える東海岸で一番大きなスキーリゾートとなる。スノーボードメーカーのパイオニアであり、現在もトップを独走する『バートン・スノーボード』もバーモント州で始まった。開発者ジェイク・バートンはバーモントの出身で、一番標高の高い北部のリゾート、ストウがホームマウンテン。バートンの本社は州の北部バーリントンにある。

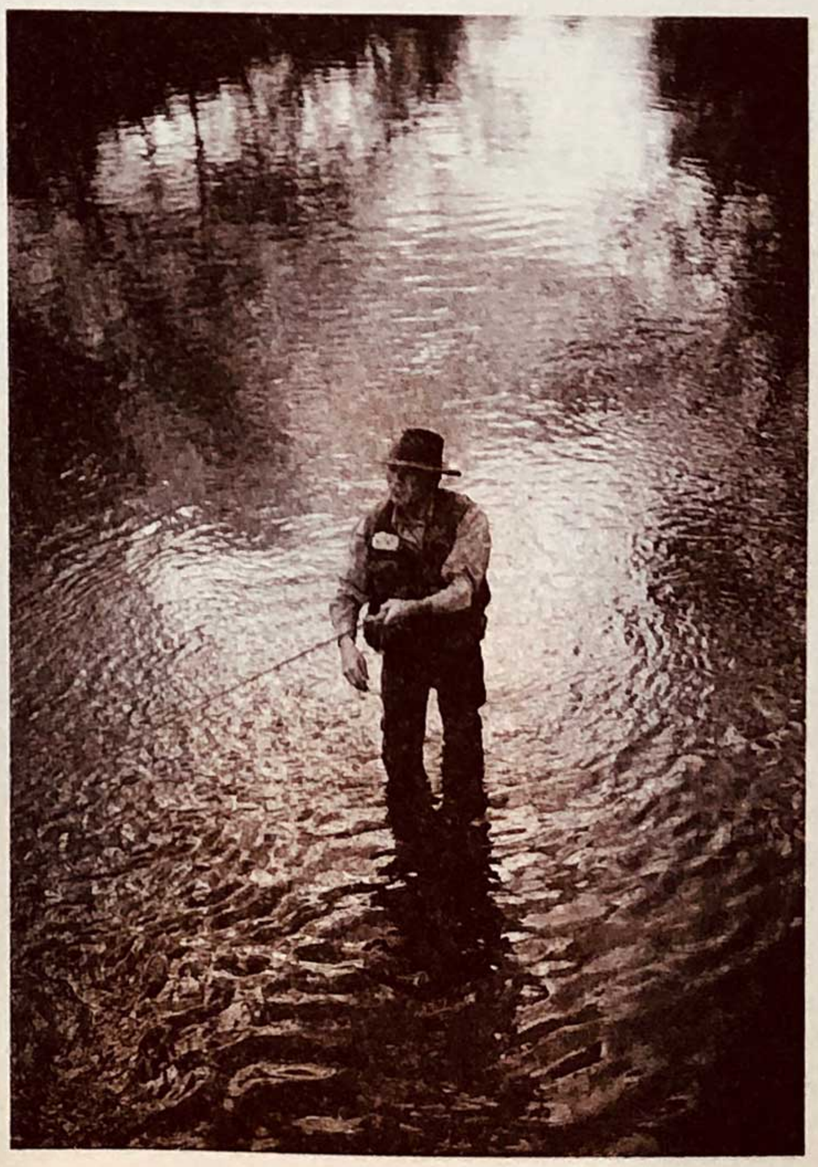
また、バーモント州はフライフィッシングのツールで知られるブランド『Orvis』の本社があることでも知られる。バーモント州南部のマンチェスターを流れるバッテンキル川から、アメリカのフライフィッシングの歴史がスタートしたと言われている。ちなみに、バッテンキルはオランダ系移民がつけた名で、バッテン＝豊か、キル＝川。つまり豊かな川という意味。そんなバッテンキル川で釣りを楽しむなら、『Orvis』の本店で地元ならではの情報をゲットしたい。

The hills are alive（山は生きている）で始まる歌詞が印象的なミュージカル映画『サウンド・オブ・ミュージック』(1965)。映画はトラップ男爵一家がオーストリアを亡命するところで終わるが、1940年にアメリカへ渡り、チロルの山々に景色が似てることから、バーモント州のストウに定着し2500エーカーの山を買い生活を始める。トラップ男爵の末息子が経営するリゾートホテル『トラップ・ファミリー・ロッジ』の敷地には、65kmのトレイルをマウンテンバイクで走ることができる。



ハートフルで自由な雰囲気の『バートンスノーボード』のオフィス。大型犬が歩き回り、過去のクリエイティブやスノーボードのグラフィックの原画が、まるで美術館にいるかのように飾られている

1968年に作られた『アメリカン・フライフィッシング博物館』には、古いものでは16世紀の頃のロッドやフライなどが展示されている。ヘミングウェイや、アイゼンハワーの愛用品も



アメリカのフライフィッシングの歴史を感じながら、釣りを楽しみたい

バーモント州観光局 https://vermontvacation.com